

## 第5章 市有建築物の耐震化促進

1. 市有建築物の現状

2. 市有建築物の耐震化促進



## 第5章 市有建築物の耐震化促進

### 1. 市有建築物の現状

本市における市有建築物は 2,356 棟であり、耐震化率は 72.8%である。

表5-1 市有建築物の現状

単位：棟

	耐震性あり	耐震性不明	計	耐震化率
木造	541	114	655	82.6%
非木造	1,175	526	1,701	69.1%
計	1,716	640	2,356	72.8%

表5-2 用途別市有建築物の現状

単位：棟

	耐震性あり	耐震性不明	計	耐震化率
市民文化系施設	113	37	150	75.3%
社会教育系施設	26	3	29	89.7%
スポーツ・レクリエーション系施設	201	30	231	87.0%
産業系施設	74	18	92	80.4%
学校教育系施設	373	118	491	76.0%
子育て支援施設	24	9	33	72.7%
保健・福祉施設	39	12	51	76.5%
医療施設	16	5	21	76.2%
行政系施設	151	57	208	72.6%
市営住宅	299	198	497	60.2%
公園	92	19	111	82.9%
供給処理施設	137	44	181	75.7%
その他	169	86	255	66.3%
(未分類)	2	4	6	33.3%
計	1,716	640	2,356	72.8%

出典：市有建築物台帳より集計

## 2. 市有建築物の耐震化促進

### (1) 多数の者が利用する建築物

市有建築物のうち、多数の者が利用する建築物の耐震化率については、100%を目標とし、耐震化を図ることとする。

表5-3 多数の者が利用する建築物で一定規模以上のものの耐震化の現状 (単位：棟)

分類	全体 a (b+c)	新耐震建築物 b	旧耐震建築物 c		耐震性のある建築物 e (b+d)	耐震化率 f (e/a)
			耐震性あり d			
市有建築物	65	3	62	58	61	93.8%

出典：薩摩川内市調査

表5-4 表5-3のうち耐震改修予定及び耐震性不明な建築物

建築物名称	所在地	主要用途	建築年	階数	床面積	今後の予定等
樋脇支所 庁舎	樋脇町塔之原 1173	庁舎	S33年	地上3階	1,253 m <sup>2</sup>	耐震診断済
樋脇総合運動場 体育館	樋脇町塔之原 8682-1	体育館	S57	地上1階	2,406 m <sup>2</sup>	耐震診断実施中
東郷総合運動場 体育館	東郷町斧淵 5566-4	体育館	S57	地上1階	2,253 m <sup>2</sup>	耐震診断実施中
東郷中学校 (校舎)	東郷町斧淵 600	中学校	S39 ~40年	地上3階	3,333 m <sup>2</sup>	H30年度 廃校予定

※平成30年3月末時点

### (2) 上記以外の建築物

施設の利用度等を勘案し、計画的に耐震診断を実施し、必要に応じて耐震改修等を行うことにより耐震化の促進を図る。